

event information

7/5 → 7/18

集会等が中止になる場合があります。主催者に必ずご確認ください。
☐ : オンライン／一部オンライン

東日本

7月5日(土)

●戦争と監視社会 サイバースパイ・サイバー攻撃法下の日本と世界と私たち 17時半 お話 小笠原みどりほか かながわ県民センター(横浜) 500円 主催 JCA-NET TEL 090(6138)9593

7月6日(日)

ふえみん主催 femin sponsorship
☐「能動的サイバー防御法」って何なんだ?! 問題点と影響、抵抗の方法を聞く 10時 お話 小倉利丸 1000円 学生・生活が苦しい人 500円 <https://femincyberbougyohou.peatix.com/> から要予約 主催 ふえみん編集部 ✉ femin-edi@femin.jca.apc.org



7月7日(月)

●わたしの戦後80年・リレートーク集会 18時半 お話 朴金優綺 崎浜空音 梁澄子 畠山澄子ほか 東京・国会議事堂正門前(地・国会議事堂前) 主催 同実行委

TEL 03(3363)7561

7月9日(水)

●映画『荒野に希望の灯をともし』上映 医師・中村哲 現地活動35年の軌跡 13時半 場所・主催共 東京・日本基督教婦人矯風会(大久保) 600円 前売り 500円 前売りは6日までに主催者ウェブより予約 TEL 03(3361)0934

7月12日(土)

ふえみん主催 femin sponsorship
●マイナンバー制度がスタートして10年、変貌を続ける制度 今、どうなってるの? 14時 講師 中森圭子 東京・千駄ヶ谷社会教育会館(千駄ヶ谷) 800円 主催 ふえみん婦人民主クラブ関東ネット TEL 03(3402)3244
☐元戦犯者・李鶴来さんが訴え続けたこと 14時 場所・主催共 東京・高麗博物館(新大久保) 講師 金井真紀 姜秀一 1000円 主催者ウェブより要予約 TEL 03(5272)3510
●イギリス外交文書から見た関東大震災 17時半 講師 鄭栄桓 かながわ労働プラザ(石川町) 1000円 学生無料 主催者FBより要予約 主催 関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追討する神奈川実行委 TEL 090(8815)0150

7月13日(日)

☐満蒙『開拓』団史を次の世代に伝えたい 14時 『あなたのいない村 満蒙開拓を語り継ぐ』上映 講師 胡桃沢伸 東京・日本教育会館(地・神保町) 無料 主催者ウェブより要予約 主催 方正友好交流の会 TEL 03(3295)0411

7月16日(水)

☐なぜ憲法は個人の尊厳と平和を希求するのか? 日本国憲法の現代的意義を歴史的・思想的背景から考える 13時半 講師 中村孝文 東京・婦人会館(新宿) 1650円 オンライン 1100円 主催者ウェブより要予約 主催 市川房枝記念会女性と政治センター TEL 03(3370)0238
☐パレスチナの乗っ取り いかに「ユタヤ人国家」を実現したのか 19時 講師 早尾貴紀 2500円 Peatix から要予約 *本公演は連続講座「思想史から見たパレスチナ／イスラエル問題 シオニズムの構想、シオニズムへの抵抗(全3回)」の第2回 主催 1923 関東朝鮮人大虐殺を記憶する行動 ✉ kantou1923@gmail.com

7月18日(金)

☐フェミニズムの現在 18時半 講師 本山央子 東京・文京区民センター(地・春日) 1000円 11日(会場参加は17日)までに要予約 主催 研究所テオリア TEL 03(6273)7233

西日本

7月12日(土)

●戦後秩序の大転換 平和主義から安全保障への変質 13時半 講師 高作正博 場所・主催共 兵庫・神戸学生青年センター・ウェスト 100(阪急・六甲) 1000円 若者 500円 TEL 078(891)3018

7月15日(火)

ふえみん主催 femin sponsorship
●青木悦『黙婆』を読んで話し合い 13時半 大阪・共同オフィス SORA(地・天満橋) 主催 ふえみん教育部会 TEL 06(7777)4935



イベント情報掲載について
イベントタイトル、開始時間、講師名、場所、最寄り駅、参加費の有無と金額、主催者と電話番号を、発行日の3週間前までにお送りください。紙幅の関係で掲載できないことがあります。ぜひ、イベントで「ふえみん」見本紙を配布してください。

mini
mini
info.

「日本における外国人・民族的マイノリティ人権白書 2025」発刊



©「生きがい／能登の声」フィルムパートナーズ 配給 スールキートス

■北陸能登復興支援映画『生きがい／能登の声』
ショートフィルム『生きがい IKIGAI』(28分)とドキュメンタリー『能登の声 The Voice of NOTO』(38分)の同時上映。

問合せ 外国人権法連絡会 ✉ info@ghr.net

価格 1000円(送料込み)
*10冊以上購入の場合は2割引
き *公費購入で領収書・請求書等を必要とする場合は送料がかかる
申込み方法 同連絡会ウェブの申込みフォームに入力。その後「人権白書」と郵便振替用紙が送付されるので料金を振り込む。

2024年元日に起きた能登半島地震、同年9月の奥能登豪雨により、能登半島では、家屋の倒壊等の甚大な被害が出た。能登でのボランティア活動に参加し、被害の大きさと復興の遅れを目の当たりにした宮本亜門監督が、鹿賀丈史ほか実力俳優優たちと共に、被災地で生きる人々の悲しみや立ち上がる姿をショートフィルムで描いた。

『能登の声』は、『生きがい』の撮影のために訪れた能登で、スタッフが被災地の人々の声をていねいに取材。手塚旬子監督がドキュメンタリーにまとめ、2つの作品を見ることで、能登の現状や人々の複雑な思いと希望をリアルに感じることができる。収益の一部は被災地の復興支援に充てられる。ぜひ観覧を!

石川県先行公開中、7月11日から東京・シネスイツチ銀座ほか全国順次公開

黒川の女たち

監督 松原文枝 語り 大竹しのぶ

撮影:神谷潤 金森之雅 編集:東樹大介 プロデューサー:江口英明 製作:テレビ朝日 配給:太秦 2025|日本|99分|ドキュメンタリー kurokawa-onnatachi.jp

1945年 関東軍敗走の満洲で待ちうけた、黒川開拓団の壮絶な運命――

なかったことにはできない



上野千鶴子

高齢になった生存者の女性たちが、その身に背負ったトラウマと、ステイグマから解放されるプロセスを、このドキュメンタリーは描いた。
「黒川」はそれを象徴する名前となった。「反省しない日本は、黒川に学べるだろうか?」

7.12(土)

渋谷・文化村前交差点左折
ユロスペース
EUROSPACE
tel.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

JR「新宿駅」東口より徒歩5分
新宿ピカデリー
050-6861-3011 smt-cinema.com

他 全国順次公開

≡映画公式サイト
上映場所はサイト内
【劇場情報】をクリック